

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月15日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	太宰府市	代表者名	楠田 大蔵
担当者部署	文書情報課	連絡先電話番号	092-921-2121
担当者役職	文書情報係長	担当者氏名	宮崎 薫
住所	818-0198 福岡県太宰府市観世音寺1-1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	具体事例を多く上げていただき、分かりやすくご説明をいただいた。これまでの情報化についてと、今後のスケジュールをお話いただき、管理職員に向け、実行すべきことのポイントをご説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	次回以降の研修会もどうぞよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月11日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	管理職員	24人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進に向けた幹部職員の意識醸成が必要であった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進の目的と、将来展望についてDX推進計画の具体的事業についての必要性加え、今後の行政のデジタル化と市民サービスの方向性について、目標とする時期とイメージのインプットを行う。DX推進が必要な推進であることの意識付けを行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DXとは何かを分かりやすくご説明いただいた。デジタル化の課題と、国の動き、自治体DX推進計画に関する事業のスケジュール、手順書の説明と今後の具体的な作業説明等のご説明と、管理職としての役割についてお話しいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXについての理解と、管理職として推進にあたり重要なポイントをご教示いただいた。具体的な目標時期等の把握と、今後の市民サービスについて考えるきっかけとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	次回以降で課長以下の職員を対象とした研修を予定している。全庁的な意識向上を目指す。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後、進捗等も含めて個別に意見を聞く予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

